別紙５

様式１　研究計画調書

受　付　番　号	令和３年度追加公募課題における該当項目（※別紙１に基づき記載すること。）
記入不要	食品中の汚染物質のリスク評価手法に関する研究に関する研究

研究課題名	●●●●に関する研究			
研究種目等				
研究期間	令和３年度　　～　令和４年度（２年間）			
分　野				
分　科				
細　目				
細目表キーワード	「研究種目等」、「分野」、「分科」、「細目」、「細目表キーワード」及び「細目表以外のキーワード」については、今回は記入不要です。			
細目表以外のキーワード				
主任研究者氏名	（フリガナ）	キョウキン　タロウ		
	（漢字等）	競金　太郎		
所属研究機関	競金大学			
住所	〒111-1234　東京都●●区●●1-2-3			
電話番号	03-1234-5678	FAX	03-1234-5678	
E-mail	●●●●@●●●.jp			
部局	大学院工学研究院			
職名	教授			
経理事務担当者氏名	管理　達也	経理担当部局名・連絡先等	競金大学管理部●●課 電話番号：03-9876-5432　FAX 番号：03-9876-5431 E-mail アドレス：●●●●@●●●.jp	
分担研究者氏名	（フリガナ）	ガクシン　ハナコ		
	（漢字等）	学振　花子		
所属研究機関	国立食品安全研究所			
住所	〒222-2345　千葉県●●市●●2-3-4			
電話番号	04-2345-6789	FAX	04-2345-6789	
E-mail	●●●●@●●●.jp			
部局	食品添加物部第四室			
職名	室長			
経理事務担当者氏名	経理　有美	経理担当部局名・連絡先等	国立食品安全研究所総務部●●課 電話番号：04-9876-5432　FAX 番号：04-9876-5431 E-mail アドレス：●●●●@●●●.jp	

※分担研究者は人数に応じて適宜記入欄を追加すること。

各年度別経費内訳

＜全体分＞

主任研究者分と分担研究者分を合算した額を記入してください。

（単位：千円）

大項目		中項目	3年度	4年度	年度	年度	年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費	1,000	0				1,000
		消耗品費	2,000	3,000				5,000
	2.旅　費	旅　　費	2,000	2,000				4,000
	3.人件費・謝金	人件費	3,500	4,500				8,000
		謝　　金	1,500	500				2,000
	4.その他	外注費	1,000	500				1,500
		その他	1,000	1,500				2,500
間接経費（上記経費の30%以内）			3,000	3,000				6,000
合　計			15,000	15,000				30,000

不要な記入欄には斜線を引いてください。

＜主任研究者分＞

（単位：千円）

大項目		中項目	3年度	4年度	年度	年度	年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費	1,000	0				1,000
		消耗品費	1,500	2,500				4,000
	2.旅　費	旅　　費	1,000	1,000				2,000
	3.人件費・謝金	人件費	3,000	3,000				6,000
		謝　　金	500	500				1,000
	4.その他	外注費	0	500				500
		その他	500	0				500
間接経費（上記経費の30%以内）			2,000	2,000				4,000
合　計			9,500	9,500				19,000

不要な記入欄には斜線を引いてください。

＜分担研究者分：学振　花子＞　←分担研究者名を記入してください。　（単位：千円）

大項目		中項目	3 年度	4 年度	年度	年度	年度	計
直接経費	1.物品費	設備備品費	0	0				0
		消耗品費	500	500				1,000
	2.旅　費	旅　　費	1,000	1,000				2,000
	3.人件費・謝金	人　件　費	500	1,500				2,000
		謝　　金	1,000	0				1,000
	4.その他	外　注　費	1,000	0				1,000
		そ　の　他	500	1,500				2,000
間接経費（上記経費の 30%以内）			1,000	1,000				2,000
合　計			5,500	5,500				11,000

不要な記入欄には斜線を引いてください。

（注）分担研究者分の記入欄は、人数に応じて適宜追加すること。

研究組織（主任研究者及び分担研究者）

	氏名（年齢） 研究者番号	所属研究機関 部局 職名	現在の専門 学位（最終学歴） 役割分担	初年度 研究経費 （千円）	エフォート （%）
主任研究者	競金太郎(51) 12345678	競金大学	量子物性	9,500	30
		大学院工学研究院	工学博士（競金大学）		
		教授	研究統括		
分担研究者	学振花子(49) 98765432	国立食品安全研究所	分析化学	5,500	20
		食品添加物部第四室	理学博士（学振大学）		
		室長	検体分析		
計　2名			研究経費合計	15,000	

・氏名欄には、研究者番号（8 桁）を忘れずに記入してください。
・研究経費欄には、研究初年度の研究経費額（間接経費を含む。）を記入してください。
・不要な記入欄には斜線を引いてください。
・本欄に記入した研究者の総数及び研究経費の合計額を、本表最下部にそれぞれ記入してください。

別紙６

様式２　応募内容ファイル

１　研究目的

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

本欄には、研究の背景及び具体的な目的について、冒頭にその概要を記入した上で、適宜文献を引用しつつ記入してください。なお、概要については、審査の際に使用するほか、採択が決定した際に食品安全委員会ホームページ等で公表します。
また、次の点については、項目を分けた上で具体的かつ明確に記入してください。
①　リスク評価への必要性及びリスク評価に期待される効果
②　達成目標（研究全体を俯瞰し、研究期間内に何をどこまで明らかにするかを箇条書き形式で記入してください。この達成目標は、中間評価及び事後評価の際に利用されます。
③　得られた成果をいつどのような方法で公表する予定であるかを記入してください。

（概要）（※３００字以内）

●●●●●●については、●●●●●●であり、●●●●●●することになっている。
本研究では、●●●●●●により、●●●●●●するとともに、●●●●●●することを目的とする。

（本文）（※８００字以内）

●●●●●●では●●●●●●●であり、●●●●●●するとされている。●●●●●●は●●●●●●●であるが、●●●●●●することになっている。この●●●●●●●を●●●●●●するためには、●●●●●●●が必要である、しかしながら、●●●●●●●●は●●●●●●であるなど、多くの課題がある。
一方で、●●●●●●●●は●●●●●●であり、●●●●●●することが期待されている。
このような背景を踏まえ、本研究では、●●●●●●して●●●●●●●を行うともとに、●●●●●●により●●●●●●●を行い、●●●●●●●を明らかにする。

（リスク評価への必要性及びリスク評価に期待される効果）（※６００字以内）

●●●●●については●●●●●であるが、●●●●●になっており、●●●●●することが求められている。また、●●●●●においても●●●●●することとされており、●●●●●することが課題となっている。
本研究では、●●●●●を検討し、●●●●●することにより●●●●●され、ひいては●●●●●のリスク評価に大いに寄与することが期待される。

（達成目標）（※目標毎に１００字以内）

１）●●●●●●により、●●●●●●を確立する。
２）●●●●●●により、●●●●●●を整備する。
３）●●●●●●により、●●●●●●の安全性評価を行う。

（得られた成果の公表）

「Food Safety（食品安全委員会英文ジャーナル）」に●年以内に投稿予定

2　研究計画・方法

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

> 本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記入した上で、年度毎の計画に分けて（単年度の計画の場合は当該年度のみ）、各研究項目の進捗予定がわかるように具体的かつ明確に記入してください。分担研究者がいる場合は、主任研究者及び分担研究者の具体的な役割や分担して研究することの必要性・妥当性についても記入してください。（※図表を含めてＡ４サイズ２枚。ただし、必要に応じて１枚追加すること（計３枚以内とすること）は可能。）

（概要）

●●●●●を目的とした●●●●●を確立するため、●●●●●により●●●●●を行い●●●●●を検証するとともに、●●●●●により、●●●●●する。

【令和３年度】

１．●●●●●の検討

（１）●●●●●の実施

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

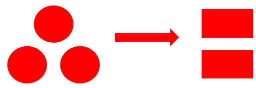

図１：●●●のモデル

（２）●●●●●の確認

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

２．●●●●●の確立

（１）●●●●●の検討

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

【令和４年度】

１．●●●●●の検証

（１）●●●●●の分析

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

（２）●●●●●の確認

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

２．●●●●●の実施

（１）●●●●●の比較

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

（２）●●●●●の検討

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●
●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

3　研究業績

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

本欄には、これまでに発表した論文、著書、産業財産権（特許出願番号等）、招待講演のうち、本研究に関連するものを選定し、researchmap からコピーするなどの方法により、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

研究業績については、主に過去 5 年間の業績を中心に記入してください。ただし、それ以前の業績であっても本研究に深く関わるものやこれまでに発表した主要な論文等を記入しても構いません。

例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。以上の各項目が記入されていれば、項目の順序を入れ替えても構いません。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可とします。

主任研究者と分担研究者それぞれの業績について記載してくだ

【主任研究員：競金太郎】

Non-negligible collisions of alkali atoms with background g[illegible] coated with paraffin
Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2019 年 3 月（査読有）

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms
Applied Optics 55(5) 1164-1169 2019 年 2 月（査読有）

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquely incident to a transmission magnetic grating
Journal of Physics B-Atomic Molecular and Optical Physics 49(6) 065005-1-065005-5 2018 年 3 月

Unexpected spin-parity assignments of the excited states in Be-9
Physical Review C 91(2) 2018 年

Relaxation of Cs atomic polarization at surface coatings characterized by X-ray photoelectron spectroscopy
Japanese Journal of Applied Physics 54(6) 2016 年（査読有）

【分担研究者：学振花子】

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin
Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2019 年 3 月（査読有）

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms
Applied Optics 55(5) 1164-1169 2018 年 2 月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquely incident to a transmission magnetic grating
Journal of Physics B-Atomic Molecular and Optical Physics 49(6) 065005-1-065005-5 2017 年 3 月

Unexpected spin-parity assignments of the excited states in Be-9
Physical Review C 91(2) 2016 年

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

4　研究費の応募・受入等の状況・エフォート

本欄には、本応募課題の主任及び分担研究者の応募時点における、（１）応募中の研究費、（２）受入予定の研究費、（３）その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。

① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を１００％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（%）を記入してください。
② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。
③ 「（３）その他の活動」欄には、（１）応募中及び（２）受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。
④ 下記（1）、（2）、（3）のエフォートの合計は 100%にしてください。
⑤ 必要に応じて行を挿入してください。また、不要な行は削除してください。

＜主任研究者＞

（１）応募中の研究費

資金制度・研究費名 （研究期間・配分機関等名）	研究課題名 （主任研究者氏名）	役割 （主任・分担の別）	令和３年度の研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
【本応募研究課題】 （R3～R4）	●●と▲▲の相関に関する実験的研究 （競金太郎）	主任	9,500 （19,000）	30	（総額 30,000 千円）
科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 （R3～R5・日本学術振興会）	●●と▲▲の■■への依存性に関する調査研究 （学振花子）	分担	3,000 （10,000）	20	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 （総額 30,000 千円）
令和３年度●●財団研究助成金 （R3・●●財団）	××と■■の研究 （競金太郎）	分担	1,000 （1,000）	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 （総額 5,000 千円）

（２）受入予定の研究費

資金制度・研究費名 （研究期間・配分機関等名）	研究課題名 （主任研究者氏名）	役割 （主任・分担の別）	令和３年度の研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
令和２年度●●財団研究助成金 （R2～R4・●●財団）	××と■■の研究 （競金太郎）	主任	3,000 （7,000）	10	本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 （総額 20,000 千円）

（３）その他の活動　　エフォート：３０％

期間全体の額は当該資金制度でのご自身の研究費の総計を、総額の欄には主任・分担含めた機関全体の研究費の総計を記載してください。

＜分担研究者＞

主任研究者分と同様に記入してください。

（１）応募中の研究費

資金制度・研究費名 （研究期間・配分機関等名）	研究課題名 （主任研究者氏名）	役割 （主任・分担の別）	令和３年度の研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
【本応募研究課題】 （R　～R　　・　　）	（　　）		（　　）		（総額　　千円）
	（　　）		（　　）		（総額　　千円）

（２）受入予定の研究費

資金制度・研究費名 （研究期間・配分機関等名）	研究課題名 （主任研究者氏名）	役割 （主任・分担の別）	令和３年度の研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフォート (%)	研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由
	（　　）		（　　）		（総額　　千円）
	（　　）		（　　）		（総額　　千円）

（３）その他の活動　　エフォート：　●％

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

5　これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、主任研究者及び分担研究者がこれまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、当該資金制度とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意し記述してください。

①　それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記入してください

②　当該資金制度とそれ以外の研究費は区別して記入してください。

＜主任研究者：競金太郎＞

【食品健康影響評価技術研究】

（１）H22～H23、「●●に関する研究」、代表、10,000 千円

研究成果：●●●●●の成果を得た。

中間評価結果：●●●●●する必要がある。

事後評価結果：●●●●●が明らかになったことは、●●●の点で有用である。

（２）H26～H27、「●●に関する研究」、分担、5,000 千円

研究成果：●●●●●の成果を得た。

中間評価結果：●●●●●する必要がある。

事後評価結果：●●●●●が明らかになったことは、●●●の点で有用である。

【上記以外の研究費】

（３）科研費（基盤研究（B））、H22～H24、「●●に関する研究」、代表、20,000 千円

研究成果：●●●●●の成果を得た。

評価：実施せず

＜分担研究者：学振花子＞

【食品健康影響評価技術研究】

（１）H22～H23、「●●に関する研究」、代表、10,000 千円

研究成果：●●●●●の成果を得た。

中間評価結果：●●●●●する必要がある。

事後評価結果：●●●●●が明らかになったことは、●●●の点で有用である。

（２）H26～H27、「●●に関する研究」、分担、5,000 千円

研究成果：●●●●●の成果を得た。

中間評価結果：●●●●●する必要がある。

事後評価結果：●●●●●が明らかになったことは、●●●の点で有用である。

【上記以外の研究費】

（３）厚労労働科学研究費補助金、H22～H24、「●●に関する研究」、
代表、20,000 千円

研究成果：●●●●●の成果を得た。

中間評価結果：●●●●●する必要がある。

事後評価結果：●●●●●が明らかになったことは、●●●の点で有用である。

6　倫理面への配慮

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

本欄には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解（インフォームド・コンセント）に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮などを記入してください。倫理面の問題がないと判断した場合には、理由と併せてその旨記入してください。

本研究では、●●●●●●を行うにあたり、●●●●●●が必要とされるため、●●●●●●の研究倫理委員会の承認を得た上で、「●●●●●●に関する法律」及び●●●●●●規則に則り実施する。

また、●●●●●●については、●●●●●●の動物実験倫理委員会の承認を得た上で、●●●●●●の規則に則り実施する。

7　研究経費の費目別内訳

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

当該研究計画に必要な研究経費について、年度別に以下記載の費目毎に品名（事項）等及び**金額（千円単位）**を記入してください（千円未満の端数は切り捨ててください）。３年間の研究の場合は、費目ごとに適宜行を追加の上記入してください。

＜主任研究者＞

(1)設備備品費

年度	品名・仕様　（数量×単価）	金額（千円）
3	●●●●機器（ABC-1）　1 台×500 千円	500
	計	500
4	なし	0
	計	0

(2)消耗品費

年度	品名	金額（千円）
3	●●●試薬 ●●●器具	500 100
	計	600
4	●●●試薬 ●●●器具	300 200
	計	500

(3) 人件費・謝金

年度	事項	金額（千円）
3	研究補助員×2 名（8 千円／日×15 日×12 か月） 研究協力者謝金（5 千円×100 名）	3,000 500
	計	3,500
4	研究補助員×2 名（8 千円／日×15 日×12 か月） 研究協力者謝金（5 千円×100 名）	3,000 500
	計	3,500

(4) 旅費

年度	事項	金額（千円）
3	研究班会議（大阪）×２名×３回	150
	北海道実証試験出張×１名	100
	●●学会（情報収集）（愛媛）×２名	150
	●●●●学会（成果発表）（米国）×１名	600
	計	1000
4	研究打合せ（神奈川）×２名	10
	計	10

(5)その他※

年度	事項	金額（千円）
3	検体送料（通信運搬費）	360
	論文投稿料（その他諸経費）	80
	消費税相当額	60
	計	500
4	●●●●分析（外注費）	500
	計	500

※外注費、印刷製本費、会議費、通信運搬費、光熱水料、その他（諸経費）及び消費税相当額をいう。

＜分担研究者：学振　花子＞

←分担研究者名を記入の上、主任研究者分と同様に記入してください。

(1)設備備品費

年度	品名・仕様　（数量×単価）	金額（千円）
3		
	計	
4		
	計	

(2)消耗品費

年度	品名	金額（千円）
3		
	計	
4		
	計	

(3)人件費・謝金

年度	事項	金額（千円）
3		
	計	
4		
	計	

(4)旅費

年度	事項	金額（千円）
3		
	計	
4		
	計	

(5)その他※

年度	事項	金額（千円）
3		
	計	
4		
	計	

※外注費、印刷製本費、会議費、通信運搬費、光熱水料、その他(諸経費)及び消費税相当額をいう。